

2018年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 横浜ゴム株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5101 URL <https://www.y-yokohama.com>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山石 昌孝
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員 経理部長（氏名） 松尾 剛太（TEL）03-5400-4520
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2018年12月期第3四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	460,835	1.2	35,588	13.4	26,953	△8.3	16,265	△25.5	4,223	△82.1
2017年12月期第3四半期	455,529	—	31,385	—	29,378	—	21,845	—	23,561	—

（注）事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益	売上収益 事業利益率
	円 銭	円 銭	%
2018年12月期第3四半期	101.42	—	7.7
2017年12月期第3四半期	136.24	—	6.9

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第3四半期	890,779	381,908	374,217	42.0	2,333.04
2017年12月期	920,776	387,752	379,778	41.2	2,368.61

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	31.00	—	31.00	62.00
2018年12月期	—	31.00	—	—	—
2018年12月期（予想）	—	—	—	31.00	62.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2017年12月期第2四半期配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 5円00銭

2017年12月期期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 5円00銭

詳細は、2017年8月10日発表の「『創立100周年記念配当』剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	650,000	0.6	61,500	5.6	55,000	1.4	36,000	△9.9	224.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期3Q	169,549,081株	2017年12月期	169,549,081株
② 期末自己株式数	2018年12月期3Q	9,150,110株	2017年12月期	9,210,890株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期3Q	160,368,480株	2017年12月期3Q	160,339,683株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上収益	455,529	460,835	1.2
タイヤ	321,921	317,088	△1.5
MB	80,495	84,583	5.1
ATG	46,492	52,359	12.6
その他	6,620	6,805	2.8
事業利益	31,385	35,588	13.4
タイヤ	20,637	23,753	15.1
MB	4,496	4,574	1.8
ATG	5,289	6,344	19.9
その他	1,041	888	△14.7
調整額	△79	28	—
営業利益	29,378	26,953	△8.3
税引前四半期利益	30,095	24,325	△19.2
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	21,845	16,265	△25.5

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当第3四半期連結累計期間（2018年1月1日～2018年9月30日）における当社グループをとり巻く環境は、国内では、雇用・所得環境及び個人消費の改善等により、景気回復が継続いたしました。

海外においては、米国では良好な雇用・所得環境及び所得税減税等を背景に景気回復が継続しており、欧州でも景気が底堅く推移する一方、中国では、景気は減速基調となりました。

また、米国の通商政策による米中貿易摩擦リスクが、より一層拡大する兆しを見せているほか、英国の欧州連合（EU）離脱についても先行き不透明な状態となっており、今後の世界経済への影響が懸念されます。

一方、国内のタイヤ業界においては、新車用タイヤ、市販用タイヤともに前年同期を下回る厳しい状況となりました。

こうした中、当社グループは、中期経営計画GD2020に基づいた成長戦略と経営基盤強化に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上収益は4,608億35百万円（前年同期比1.2%増）となり、利益面では、連結事業利益が355億88百万円（前年同期比13.4%増）、連結営業利益が269億53百万円（前年同期比8.3%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は162億65百万円（前年同期比25.5%減）となりました。

なお、当社の米国タイヤ生産子会社ヨコハマタイヤ マニュファクチャリング ミシシッピ, LLCにおいて112億150百万円の減損損失を計上しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① タイヤ

売上収益は3,170億88百万円（前年同期比1.5%減）で、当社グループの連結売上収益の68.8%を占めております。

新車用タイヤは、国内では納入車種の切り替え時期と重なったため販売が低調だったほか、海外においても、中国での自動車販売低迷に伴う生産調整等により販売が減少し、国内、海外ともに売上収益は前年同期を下回りました。

市販用タイヤは、国内では、年初の降雪が多かったことで、冬用タイヤの販売が好調だったほか、グローバル・フラッグシップブランド「ADVAN（アドバン）」シリーズや低燃費タイヤ「BluEarth（ブルーアース）」シリーズをはじめとする高付加価値商品の拡販に努めたことで、前年同期を上回りました。一方、海外においては、一部新興国における通貨不安や天候要因、および米中貿易摩擦への警戒感による販売減少があり、売上収

益は前年同期を下回りました。

② MB(マルチプル・ビジネスの略)

売上収益は845億83百万円(前年同期比5.1%増)で、当社グループの連結売上収益の18.4%を占めております。

ホース配管事業は、国内外の建機、工作機需要が引き続き旺盛だったことに加え、自動車用ホース配管も海外を中心に好調を維持したことで、売上収益は前年同期を上回りました。

工業資材事業では、国内外でコンベヤベルトの販売が好調だったほか、海洋商品の販売も原油価格の上昇によるマリンホースの需要回復により海外を中心に好調だったことから、売上収益は前年同期を上回りました。

一方、ハマタイト・電材事業及び航空部品事業では、売上収益は前年同期を下回りました。

③ ATG

売上収益は523億59百万円(前年同期比12.6%増)で、当社グループの連結売上収益の11.4%を占めております。

農業機械用・産業車両用タイヤをはじめとするオフハイウェイタイヤは、豪州・欧州を中心とした世界的な天候不良、異常気象により一部地域で市販用タイヤの販売が振るわなかったものの、農業機械の需要が引き続き回復傾向にあることから、新車用タイヤの販売が好調で売上収益は前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて299億97百万円減少し、8,907億79百万円となりました。これは、主に売上債権が減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて241億54百万円減少し、5,088億70百万円となりました。これは、主に長期借入金の返済等によるものです。

資本合計は、前連結会計年度末に比べて58億43百万円減少し、3,819億8百万円となりました。これは、主に為替相場変動の影響等によりその他の包括利益累計額が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年12月期(2018年1月1日～2018年12月31日)における通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「減損損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

(4) 追加情報

該当する事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	58,305	42,089
営業債権及びその他の債権	181,750	162,147
その他の金融資産	4,417	1,971
棚卸資産	106,823	132,298
その他の流動資産	11,116	15,134
流動資産合計	362,410	353,639
非流動資産		
有形固定資産	292,073	284,745
のれん	88,114	88,558
無形資産	49,683	48,169
その他の金融資産	117,716	104,779
繰延税金資産	5,387	7,286
その他の非流動資産	5,392	3,603
非流動資産合計	558,366	537,139
資産合計	920,776	890,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	82,260	82,222
社債及び借入金	62,756	109,194
その他の金融負債	16,758	12,470
未払法人所得税	3,413	7,313
その他の流動負債	41,704	41,498
流動負債合計	206,891	252,697
非流動負債		
社債及び借入金	252,798	188,419
その他の金融負債	8,461	7,929
退職給付に係る負債	15,541	15,398
繰延税金負債	39,032	33,579
その他の非流動負債	10,300	10,849
非流動負債合計	326,133	256,174
負債合計	533,024	508,870
資本		
資本金	38,909	38,909
資本剰余金	31,058	31,118
利益剰余金	260,428	265,674
自己株式	△12,119	△12,040
その他の資本の構成要素	61,501	50,556
親会社の所有者に帰属する持分合計	379,778	374,217
非支配持分	7,974	7,692
資本合計	387,752	381,908
負債及び資本合計	920,776	890,779

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
売上収益	455,529	460,835
売上原価	△310,492	△309,459
売上総利益	145,037	151,376
販売費及び一般管理費	△113,652	△115,788
事業利益	31,385	35,588
その他の収益	3,073	4,814
その他の費用	△5,079	△13,449
営業利益	29,378	26,953
金融収益	5,323	2,663
金融費用	△4,606	△5,290
税引前四半期利益	30,095	24,325
法人所得税費用	△8,188	△7,889
四半期利益	21,907	16,436
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	21,845	16,265
非支配持分	62	171
四半期利益	21,907	16,436
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	136.24	101.42

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	21,907	16,436
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	6,062	△9,431
確定給付制度の再測定	758	△1,096
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1,177	754
在外営業活動体の換算差額	△3,990	△2,439
税引後その他の包括利益	1,654	△12,213
四半期包括利益	23,561	4,223
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	23,337	4,243
非支配持分	224	△20
四半期包括利益	23,561	4,223

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2017年1月1日 残高	38,909	31,055	226,277	△12,114	12,248	604
四半期利益			21,845			
その他の包括利益					△4,141	△1,177
四半期包括利益	—	—	21,845	—	△4,141	△1,177
自己株式の取得				△3		
自己株式の処分		0		0		
剰余金の配当			△9,139			
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引		3				
利益剰余金への振替			758			
その他			844			
所有者との取引額等合計	—	3	△7,537	△3	—	—
2017年9月30日 残高	38,909	31,058	240,585	△12,116	8,107	△573

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2017年1月1日 残高	41,492	—	54,344	338,472	6,266	344,738
四半期利益			—	21,845	62	21,907
その他の包括利益	6,051	758	1,492	1,492	162	1,654
四半期包括利益	6,051	758	1,492	23,337	224	23,561
自己株式の取得			—	△3		△3
自己株式の処分			—	0		0
剰余金の配当			—	△9,139	△347	△9,486
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引			—	3	△3	—
利益剰余金への振替		△758	△758	—		—
その他			—	844	937	1,781
所有者との取引額等合計	—	△758	△758	△8,295	587	△7,708
2017年9月30日 残高	47,543	—	55,077	353,514	7,076	360,590

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2018年1月1日 残高	38,909	31,058	260,428	△12,119	10,041	△433
四半期利益			16,265			
その他の包括利益					△2,253	754
四半期包括利益	—	—	16,265	—	△2,253	754
自己株式の取得				△3		
自己株式の処分						
株式報酬取引		79		81		
剰余金の配当			△9,943			
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引		△19				
利益剰余金への振替			△1,076			
その他						
所有者との取引額等合計	—	60	△11,019	79	—	—
2018年9月30日 残高	38,909	31,118	265,674	△12,040	7,788	320

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	確定給付制度の再測定	合計			
2018年1月1日 残高	51,893	—	61,501	379,778	7,974	387,752
四半期利益			—	16,265	171	16,436
その他の包括利益	△9,426	△1,096	△12,022	△12,022	△191	△12,213
四半期包括利益	△9,426	△1,096	△12,022	4,243	△20	4,223
自己株式の取得			—	△3		△3
自己株式の処分			—	—		—
株式報酬取引			—	160		160
剰余金の配当			—	△9,943	△283	△10,226
支配の喪失とならない子会社に対する非支配株主との取引			—	△19	19	0
利益剰余金への振替	△21	1,096	1,076	—		—
その他			—	—	2	2
所有者との取引額等合計	△21	1,096	1,076	△9,804	△262	△10,067
2018年9月30日 残高	42,447	—	50,556	374,217	7,692	381,908

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	30,095	24,325
減価償却費及び償却費	25,953	27,364
減損損失	—	11,215
火災損失	2,887	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△202	539
受取利息及び受取配当金	△2,025	△2,065
支払利息	2,544	2,124
固定資産除売却損益(△は益)	△356	322
売上債権の増減額(△は増加)	5,245	18,779
仕入債務の増減額(△は減少)	1,013	3,482
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,477	△25,075
その他	△6,657	△10,669
小計	45,020	50,341
利息及び配当金の受取額	2,059	1,786
利息の支払額	△2,515	△2,026
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△10,810	△7,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,754	42,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	4,258	3,722
定期預金の預入による支出	△2,211	△696
有形固定資産の取得による支出	△28,771	△31,249
有形固定資産の売却による収入	1,597	182
無形資産の取得による支出	△886	△1,058
投資有価証券の取得による支出	△15	△13
子会社株式の取得による支出	△2,353	—
その他	318	△352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,062	△29,463
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,159	3,793
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	11,000	6,000
長期借入れによる収入	10,078	2,326
長期借入金の返済による支出	△25,415	△29,717
自己株式の取得による支出	△3	△3
配当金の支払額	△9,145	△9,943
その他	△1,338	△1,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,665	△28,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	△923	△651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	104	△16,216
現金及び現金同等物の期首残高	55,845	58,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,949	42,089

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の総合的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部別のセグメントから構成されており、「タイヤ」、「MB」、「ATG」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品

報告セグメント	主要製品
タイヤ	乗用車用、トラック・バス用、小型トラック用、建設車両用、産業車両用などの各種タイヤ、チューブ、アルミホイール、自動車関連用品
MB	コンベヤベルト、ゴム板、各種ホース、防舷材、オイルフェンス、マリンホース、型物、空気パネ、ハイウェイジョイント、橋梁用ゴム支承、防水材、止水材、防音・防振商品、接着剤、シーリング材、コーティング材、封止材、航空部品
ATG	農業機械用、産業車両用、建設車両用、林業機械用などの各種タイヤ

(2) セグメント収益及び業績に関する情報

報告セグメントの数値は事業利益ベースの数値であります。セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 3	連結
	タイヤ	MB	ATG				
売上収益							
外部顧客	321,921	80,495	46,492	6,620	455,529	—	455,529
セグメント間	943	78	12	13,281	14,315	△14,315	—
合計	322,865	80,573	46,505	19,901	469,844	△14,315	455,529
セグメント利益 (事業利益)(注) 2	20,637	4,496	5,289	1,041	31,463	△79	31,385
その他の収益及び費用							△2,007
営業利益							29,378

(注) 1. 「その他」の区分に含まれる事業は、スポーツ事業等であります。

2. セグメント利益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

3. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 3	連結
	タイヤ	MB	ATG				
売上収益							
外部顧客	317,088	84,583	52,359	6,805	460,835	—	460,835
セグメント間	1,384	79	45	11,382	12,890	△12,890	—
合計	318,472	84,663	52,403	18,187	473,725	△12,890	460,835
セグメント利益 (事業利益)(注) 2	23,753	4,574	6,344	888	35,559	28	35,588
その他の収益及び費用							△8,635
営業利益							26,953

(注) 1. 「その他」の区分に含まれる事業は、スポーツ事業等であります。

2. セグメント利益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

3. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

(重要な後発事象)

該当する事項はありません。